

# 明渠の流下能力を向上

## 宮坂建設工業と平田建設

### 野焼き、堆積土砂撤去も

【帯広発】宮坂建設工業（株）（帯広、宮坂寿文社長）と（株）平田建設（十幌、野中栄忠社長）は二十三日、地域貢献の一環として、豊頃町二宮地区総合開発促進協

議会（半谷徳辰会長）が行う農業施設の保全活動に協力した。協議会メンバーと社員合わせて約六十人が参加。野焼きを行って雑草を防除し、明渠の流下能力を向上させた。写真。二十四年から継続して、豊頃町地域貢献活動に協力しており、今回は、豊頃町二宮地区総合開発促進協議会の要請を受け、農地の資源保護活動を実施することになった。



この日は、地域住民などで構成する協議会メンバーと宮坂建設工業・平田建設の社員合わせて約六十人が参加。一宮地区明渠の伐開・野焼き延長十キロと小川幹線明渠で延長六百メートル間の堆積土砂を撤去した。ノコやナタのほか、防除噴霧器スプレーヤーを使った。柳などの小木や背の高い葎、イタドリなどを伐開。野焼きを行い、雑草を防除するとともに、明渠の流下能力の向上を図った。協議会の半谷会長は「我々は重機をもっていないので、非常に助かる」と話し、建設業の頼もしさを実感していた。

## 北海道建設新聞 2014.04.29



豊頃町二宮で排水路枝払い  
宮坂建設工業と平田建設共同で  
【帯広】宮坂建設工業（本社・帯広、宮坂寿文社長）と平田建設（同・

十幌、野中栄忠社長）はこのほど、地域貢献活動として豊頃町の二宮総合開発推進協議会が実施している排水路の枝払いなどに協力した。写真。同協議会は、明渠の排水機能低下を防ぐため毎年この時期に作業。宮坂建設工業らは2012年から毎年協力している。ことしは23日に実施。両社から30人が参加し、小川幹線明渠で600メートルにわたって土砂を取り除いたほか、約10キロ区間で枝払いや野焼きを手掛けた。協議会の半谷徳辰会長は「われわれだけでは人

手も機材も足りず、大変な努力になるのでとても助かっている」と感謝していた。